

ノーリツ

設置スペースを20%縮小し、都市部狭小地でも設置しやすくなった エコウィルの新排熱利用給湯暖房ユニット発売

～エネルギー利用効率 92%を実現～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東/大証一部上場)は、外形寸法のコンパクト化で設置スペースを約20%縮小した新型のガス発電・給湯暖冷房システム(1kW家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム)『エコウィル』用の排熱利用給湯暖房ユニット「SG-GTH2404AD」を6月1日から発売します。

今回発売する排熱利用給湯暖房ユニットは、従来品と比較し、外形寸法を小さくして容積を23%小型化しました。この小型化により『エコウィル』が都市部の狭小地でもより設置しやすくなりました。さらに発電ユニットの発電効率と排熱回収効率を向上させることによって、『エコウィル』のシステム全体ではエネルギー利用効率92%(LHV^{※1})を達成しました。尚、今回発売する『エコウィル』用の排熱利用給湯暖房ユニットは、東京ガス株式会社(社長:岡本毅)、東邦ガス株式会社(社長:水野耕太郎)、大阪ガス株式会社(社長:尾崎裕)、西部ガス株式会社(社長:田中優次)および当社が共同で開発しました。発電ユニットは本田技研工業株式会社(社長:伊東孝紳)が開発しました。※1:低位発熱量基準

『エコウィル』は、発電した電力を家庭内で使用するとともに、発電時に発生した排熱を有効に活用し、給湯やミストサウナ、ガス温水床暖房、浴室暖房乾燥機等に利用するエネルギー効率の高いシステムです。

排熱利用給湯暖房ユニットの主な特長は以下のとおりです。

(1)コンパクト・軽量化で施工性、設置性を向上

排熱利用給湯暖房ユニットのコンパクト化と軽量化を実現しました。奥行きを100mm低減(300mm←従来品400mm)し、質量を14%削減したことで、360回転する排気トップの採用と合わせて設置等施工性が向上しました。

また発電ユニットもコンパクト化しており、『エコウィル』設置面積はシステム全体で従来から約20%縮小した1.69㎡と、より省スペースで設置することが可能となりました。このため都心部の狭小地や、リフォームなどでの設置対象が広がります。

(2)貯湯タンクに貯めた熱を温水床暖房や追い焚きにも利用

従来は排熱利用給湯暖房ユニットの貯湯タンクに貯めた熱を給湯のみに利用していました。しかし新しい『エコウィル』では、貯湯タンクを小型化し温水床暖房や追い焚きにも利用することで、排

熱をさらに積極的に利用できるようになりました。これによって発電ユニットによる発電時間が伸びることで、購入電力量低減につなげることができます。

(2)省エネ生活をサポートするエネルギー機能を充実

高機能リモコンを標準装備しました。これによりトップ画面に発電状況や、買電中の電力値、使用中の電力値が表示されるなど現在のエネルギー使用状況が常に表示され、さらに、太陽光発電システムと接続した場合には売電中の電力値も表示します。「現在状況表示」は電力値、ガス使用量などの情報を図で一覧表示し、簡単操作で『エネルギーの見える化』を実現しました。

<参考>

○排熱利用給湯暖房ユニットの仕様

項目		仕様
貯湯温度		約 75℃
貯湯タンク容量		90ℓ
排気方式		強制排気方式 排気方向可変(多段階)
消費電力	最大時	290W
	排熱回収運転時	20W
	無負荷時	10W(待機時 2.7W)
外形寸法(mm)		H1,690×W720×D300
本体質量(満水時)		83kg(約 178kg)

当資料は神戸経済記者クラブで配布しています。

また下記の記者クラブでも各社が関連資料を配布しています。

大阪ガス株式会社：五月会、大阪機械記者クラブ

西部ガス株式会社：福岡経済記者クラブ

本田技研工業株式会社：自動車産業記者会